

単元のゴール

- ・自分の力にあった安定した動作で技をすることができるようになる。（技能）
- ・約束を守り、助け合い、安全に気をつけて運動することができるようにする（態度）
- ・自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせを工夫することができるようにする。（思考・判断）

単元に係る児童の実態(技能)

児童は、これまでに開脚跳びの学習を行っている。その学習を通して、助走から両足で踏み切り、足を左右に開いて着手し跳び越えて着地するという動きを学習している。しかしながら、台上前転や首はね跳びなどの回転系の技を経験していない。

単元に係る児童の実態(態度)

体育の授業は好きですか			
好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない
18人	6人	3人	1人

多くの児童が体育の授業に意欲的に取り組むことができる。しかし、授業外での運動量が乏しく、新体力テストの結果は全項目において課題がある。また、経験したことのないことや、自信のないことに対して極端に消極的になる児童が多く、思い切りよく助走をしたり、跳んだりする動作を怖がってできなくなってしまう傾向が見られる

単元に係る児童の実態(思考・判断)

児童はこれまでの学習で、よい動きと自分の動きを比較したり、友達の動きを見合ったりすることで自分の課題を把握し、解決の場を決定するを行ってきた。また運動の得意な児童が声をかけ、上手くできない児童にコツや練習の方法を教える場面も見られる。

単元のゴール(技能)

- ・基本的な支持跳び越し技に取り組む、安定した動作でその技ができる。
- ・自分の力にあった技を選び、ペアやグループで動きをそろえて演技することができる。

単元のゴール(態度)

- ・楽しさや喜びを求め、跳び箱運動に進んで取り組もうとしている。
- ・約束を守り、友達と助け合って練習しようとしている。
- ・場や器械・器具の安全に気を配り、運動や準備片付けをしようとしている。

単元のゴール(思考・判断)

- ・技のポイントを知り、自分の力に合った練習の場や段階を選んでいる。
- ・友達と観察し合って見つけたコツやわかったことを伝え合い、自己の改善につなげている。

教師の指導観(技能)

跳び箱運動の技能向上の為に慣れの運動では、跳び箱運動につながる類似の運動を行い、基礎となる感覚を身につけさせたい。また、単元前半では、切り返し系の技に共通の踏み切り、着手、着地のポイント、後半には回転系の技のポイントと発展技への系統を十分に理解させたい。

教師の指導観(態度)

互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合い、認め合える活動内容にする。また、けがのないように互いの服装や髪型に気を付けたり、器械・器具の安全に気を配る指導を行う。苦手な児童や消極的な児童への配慮として器械・器具の横や下などにマットを敷いたり、補助者を付けたりして、意欲的に取り組めるような場をつくる。

教師の指導観(思考・判断)

ICT 機器を活用して、動きのポイントと自己や友達の動きを照らし合わせ、技のできばえや次の課題を確認するなど、自己の課題を見つけると共に、観察し合って見つけたコツやわかったことを伝え合う活動を取り入れる。

授業のねらいと指導内容及び願う子供の姿

時	◎授業のねらい ○指導内容	◆各時間終了後の願う子供の姿
1	◎切り返し系の技のポイントを知らう ○安全に気を付けた学習の進め方、用具の準備の仕方 ○慣れの運動の仕方 ○切り返し系の技のポイント ○補助の仕方	◆用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。
2	◎切り返し系の技の練習に取り組もう ○切り返し系の技のポイント ○補助の仕方	◆切り返し系の技のポイントや練習方法を理解して自分の能力に適した技の練習に取り組もうとしている。
3	◎回転系の技のポイントを知らう ○回転系の技のポイント ○補助の仕方	◆自分の能力に適した技の練習に取り組もうとしている。
4 (本時)	◎回転系の技の練習に取り組もう ○回転系の技のポイント ○補助の仕方	◆回転系の技のポイントや練習方法を理解して自分の能力に適した技の練習に取り組もうとしている。
5	◎息を合わせてシンクロしよう ○自分の能力に適した技の練習 ○ペアやグループでシンクロ跳び	◆今できる技を生かして、友達と調子を合わせて跳ぶことができる。

学習過程

時	1	2	3	4 (本時)	5
5	集合・整列・健康観察・挨拶・準備運動				
	慣れの運動（カエル倒立、カエルの足うち、くまさん歩き、うさぎ跳び）				
15	・安全に気を付けた学習の進め方、用具の準備の仕方	場の準備			
	ねらい① ・切り返し系の技のポイントを知らう	ねらい② ・切り返し系の技の練習に取り組もう	ねらい③ ・回転系の技のポイントを知らう	ねらい④ ・回転系の技の練習に取り組もう	ねらい⑤ ・息を合わせてシンクロしよう
	切り返し系の技		回転系の技		切り返し系の技 回転系の技 ペアやグループでシンクロ跳び
40	体をほぐす				
	学習のまとめ				
	場の片付け・挨拶				

ストーリーデザイン	本時の目標 回転系の技のポイントや練習方法を理解して自分の能力に適した技の練習に取り組もうとしている。【思考】	今後の展開																																	
<p>1時間目</p> <ol style="list-style-type: none"> 安全に気を付けた学習の進め方、用具の準備の仕方を知る。 慣れの運動の仕方を知る。 切り返し系の技のポイントを知る。 補助の仕方を知る。 切り返し系の技のポイントに気を付けて練習をする。 学習を振り返る。 <p>2時間目</p> <ol style="list-style-type: none"> 慣れの運動を行う。 切り返し系の技のポイントに気を付けて練習をする。 学習を振り返る。 <p>3時間目</p> <ol style="list-style-type: none"> 慣れの運動を行う。 回転系の技のポイントを知る。 補助の仕方を知る。 回転系の技のポイントに気を付けて練習をする。 学習を振り返る。 <p>4時間目</p> <ol style="list-style-type: none"> 慣れの運動を行う。 回転系の技のポイントに気を付けて練習をする。 学習を振り返る。 <p>5時間目</p> <ol style="list-style-type: none"> 慣れの運動を行う。 自分の能力に適した技の練習をする。 ペアやグループでシンクロ跳びを行う。 単元を通してのまとめをする。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="562 188 607 240">段階</th> <th data-bbox="613 188 1061 240">本時の流れ 学習活動</th> <th data-bbox="1068 188 1771 240">指導上の留意点 (○指導◆評価規準△努力を要する児童への手立て)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="562 245 607 427">1</td> <td data-bbox="613 245 1061 427">集合・整列・健康観察をする。</td> <td data-bbox="1068 245 1771 427">○素早く集合、整列、規律ある行動を心がけさせる。 ○健康状態を把握し、服装を整えさせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 432 607 517">2</td> <td data-bbox="613 432 1061 517">準備運動をする。</td> <td data-bbox="1068 432 1771 517">○関節部分のほぐしをしっかりと行わせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 521 607 606">3</td> <td data-bbox="613 521 1061 606">慣れの運動をする。</td> <td data-bbox="1068 521 1771 606">○跳び箱運動につながる類似の運動を行い、基礎となる感覚を身につけさせる。 ○動きのポイントを押さえている児童を称賛する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 611 607 695">4</td> <td data-bbox="613 611 1061 695">場の準備をする。</td> <td data-bbox="1068 611 1771 695">○友達と協力し分担された役割を果たすように声かけをする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 700 607 1002">5</td> <td data-bbox="613 700 1061 1002"> 本時のねらいを確認する。 ポイントに気を付けて、友達と見合い、教え合って回転系の技の練習に取り組もう。 6 回転系の技の練習を行う。 【自分の能力に適した回転系の技の練習に取り組む】 ・同じ技に取り組む友達とグループをつくる。 ・お互いのめあてを伝え合い、どこを見合うかを確認する。 ・1人2〜3回取り組んだら交代し、順番に練習する。 ・見ている児童はめあてができているかどうかをよく見て伝えるようにする。 </td> <td data-bbox="1068 700 1771 1002"> ○自己のめあてを明確にして練習をするという意識を持たせる。 ○自己のめあてと課題は何なのか考えさせる。 ○めあてを伝え合い、どこを見合うかを確認し、教え合いをすることを意識させる。 ○ICT機器を活用して、動きのポイントと自己や友達の動きを照らし合わせる。 ○課題の把握が苦手なグループに助言する。 ○どんな練習をしたらよいかわからないグループには具体例を示す。 ○よい言葉がけのできている児童を称賛する。 ◆友達と観察し合って見つけたコツやわかったことを伝え合い、自己の改善につなげている。 【思考・判断】 【努力を要する児童への手立て】 △課題の助言や、やさしい場づくりや補助者を付ける。 【十分満足にできると判断できる児童への発展的な内容】 ○模範演技や補助、アドバイスができるように助言する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 1007 607 1091">7</td> <td data-bbox="613 1007 1061 1091">体をほぐす。</td> <td data-bbox="1068 1007 1771 1091">○関節部分のほぐしをしっかりと行わせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 1096 607 1181">8</td> <td data-bbox="613 1096 1061 1181">学習カードを記入する。</td> <td data-bbox="1068 1096 1771 1181">○今日うまくいったこと・いかなかったことをカードに記入させる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 1185 607 1270">9</td> <td data-bbox="613 1185 1061 1270">学習のまとめをする。</td> <td data-bbox="1068 1185 1771 1270">○本時のねらいに沿って学習を振り返り、</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 1275 607 1359">10</td> <td data-bbox="613 1275 1061 1359">場の片付けを行う。</td> <td data-bbox="1068 1275 1771 1359">○友達と協力し分担された役割を果たすように声かけをする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 1364 607 1449">11</td> <td data-bbox="613 1364 1061 1449">挨拶をする。</td> <td data-bbox="1068 1364 1771 1449">○素早く集合、整列、規律ある行動を心がけさせる。</td> </tr> </tbody> </table>	段階	本時の流れ 学習活動	指導上の留意点 (○指導◆評価規準△努力を要する児童への手立て)	1	集合・整列・健康観察をする。	○素早く集合、整列、規律ある行動を心がけさせる。 ○健康状態を把握し、服装を整えさせる。	2	準備運動をする。	○関節部分のほぐしをしっかりと行わせる。	3	慣れの運動をする。	○跳び箱運動につながる類似の運動を行い、基礎となる感覚を身につけさせる。 ○動きのポイントを押さえている児童を称賛する。	4	場の準備をする。	○友達と協力し分担された役割を果たすように声かけをする。	5	本時のねらいを確認する。 ポイントに気を付けて、友達と見合い、教え合って回転系の技の練習に取り組もう。 6 回転系の技の練習を行う。 【自分の能力に適した回転系の技の練習に取り組む】 ・同じ技に取り組む友達とグループをつくる。 ・お互いのめあてを伝え合い、どこを見合うかを確認する。 ・1人2〜3回取り組んだら交代し、順番に練習する。 ・見ている児童はめあてができているかどうかをよく見て伝えるようにする。	○自己のめあてを明確にして練習をするという意識を持たせる。 ○自己のめあてと課題は何なのか考えさせる。 ○めあてを伝え合い、どこを見合うかを確認し、教え合いをすることを意識させる。 ○ICT機器を活用して、動きのポイントと自己や友達の動きを照らし合わせる。 ○課題の把握が苦手なグループに助言する。 ○どんな練習をしたらよいかわからないグループには具体例を示す。 ○よい言葉がけのできている児童を称賛する。 ◆友達と観察し合って見つけたコツやわかったことを伝え合い、自己の改善につなげている。 【思考・判断】 【努力を要する児童への手立て】 △課題の助言や、やさしい場づくりや補助者を付ける。 【十分満足にできると判断できる児童への発展的な内容】 ○模範演技や補助、アドバイスができるように助言する。	7	体をほぐす。	○関節部分のほぐしをしっかりと行わせる。	8	学習カードを記入する。	○今日うまくいったこと・いかなかったことをカードに記入させる。	9	学習のまとめをする。	○本時のねらいに沿って学習を振り返り、	10	場の片付けを行う。	○友達と協力し分担された役割を果たすように声かけをする。	11	挨拶をする。	○素早く集合、整列、規律ある行動を心がけさせる。	<p>5時間目</p> <p>今できる技を生かして、友達と調子を合わせて跳ぶ。</p> <p>【身に付けさせたいこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①切り返し系の技 ②回転系の技 ③友だちとリズムを合えさせて跳ぶ <p>6年生との接続 小学校5、6年生で学習する内容は以下の通りである。</p> <p>【切り返し系の発展技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかえ込み跳び <p>【回転系の発展技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸膝台上前転 ・頭はね跳び <p>一人一人を伸ばす 上位層下位層に向けて</p> <p>【上位層に向けての手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模範演技や補助、アドバイスができるように助言する。 <p>【下位層に向けての手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の助言や、やさしい場づくりや補助者を付ける。 <p>願う子供の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な支持跳び越し技に取り組み、安定した動作でその技ができる姿。 ・楽しさや喜びを求め、安全に気をつけて跳び箱運動に進んで取り組もうとしている姿。 ・友達と観察し合って見つけたコツやわかったことを伝え合い、自己の改善につなげている姿。
段階	本時の流れ 学習活動	指導上の留意点 (○指導◆評価規準△努力を要する児童への手立て)																																	
1	集合・整列・健康観察をする。	○素早く集合、整列、規律ある行動を心がけさせる。 ○健康状態を把握し、服装を整えさせる。																																	
2	準備運動をする。	○関節部分のほぐしをしっかりと行わせる。																																	
3	慣れの運動をする。	○跳び箱運動につながる類似の運動を行い、基礎となる感覚を身につけさせる。 ○動きのポイントを押さえている児童を称賛する。																																	
4	場の準備をする。	○友達と協力し分担された役割を果たすように声かけをする。																																	
5	本時のねらいを確認する。 ポイントに気を付けて、友達と見合い、教え合って回転系の技の練習に取り組もう。 6 回転系の技の練習を行う。 【自分の能力に適した回転系の技の練習に取り組む】 ・同じ技に取り組む友達とグループをつくる。 ・お互いのめあてを伝え合い、どこを見合うかを確認する。 ・1人2〜3回取り組んだら交代し、順番に練習する。 ・見ている児童はめあてができているかどうかをよく見て伝えるようにする。	○自己のめあてを明確にして練習をするという意識を持たせる。 ○自己のめあてと課題は何なのか考えさせる。 ○めあてを伝え合い、どこを見合うかを確認し、教え合いをすることを意識させる。 ○ICT機器を活用して、動きのポイントと自己や友達の動きを照らし合わせる。 ○課題の把握が苦手なグループに助言する。 ○どんな練習をしたらよいかわからないグループには具体例を示す。 ○よい言葉がけのできている児童を称賛する。 ◆友達と観察し合って見つけたコツやわかったことを伝え合い、自己の改善につなげている。 【思考・判断】 【努力を要する児童への手立て】 △課題の助言や、やさしい場づくりや補助者を付ける。 【十分満足にできると判断できる児童への発展的な内容】 ○模範演技や補助、アドバイスができるように助言する。																																	
7	体をほぐす。	○関節部分のほぐしをしっかりと行わせる。																																	
8	学習カードを記入する。	○今日うまくいったこと・いかなかったことをカードに記入させる。																																	
9	学習のまとめをする。	○本時のねらいに沿って学習を振り返り、																																	
10	場の片付けを行う。	○友達と協力し分担された役割を果たすように声かけをする。																																	
11	挨拶をする。	○素早く集合、整列、規律ある行動を心がけさせる。																																	
<p>本時の慣れの運動 腕で支持する感覚 →【くまさん歩き】【カエル倒立】 【カエルの足うち】 体を投げ出す感覚 →【うさぎ跳び】</p>	<p>主体的な学び</p> <p>全ての児童が技を身に付ける楽しさや喜びを味わうことができるよう、自己やグループの課題を見つけ、その課題の解決の仕方を考えたり、練習の場や段階を工夫したりすることができるようにする。</p> <p>対話的な学び</p> <p>ICT機器を活用して、動きのポイントと自己や友達の動きを照らし合わせ、自己の課題を見つけると共に、観察し合って見つけたコツやわかったことを伝え合う活動を取り入れる。</p>	<p>深い学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のめあてと課題は何なのか考えさせ、個々の課題をグループの課題として捉え、仲間と助け合い、認め合える活動内容にする。 ・自分の能力に適した技のポイントを理解し、友達のよいところと自己の課題を比較し、改善につなげられるようにする。 																																	